

報告事項イ

コロナ禍での教職員研修の進め方について

コロナ禍での教職員研修の進め方について、別紙のとおり報告します。

令和2年9月2日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

新型コロナウイルス感染症への対応、業務改善の視点等から、従来からの一律の方法ではなく、研修受講者の安全に配慮しつつ、研修のねらいを達成するためによりよい教職員研修のあり方を検討しながら実施していく方針である。

その方針のもと、8月については「鳥取県版新型コロナ警報」に基づく「警報」が鳥取県全域に発令されたことを踏まえ、集合研修を原則中止とし、基本研修とICT活用教育についての専門研修は、代替措置を講じた。今後も状況に応じた研修を工夫していきたい。

1 コロナ禍での研修の方向性

- 基本研修については、代替措置を講じ必ず実施する。
- 職務研修、専門研修については、代替措置を検討し可能な場合は実施する。

2 代替措置を講じた研修

(1) 基本研修（初任者研修、新規採用養護教諭研修、3年目研修、6年目研修、中堅教諭等資質向上研修）

- 作成した講義の動画や資料を学校教育支援サイトに掲載し、受講レポートの提出を求めた。（オンデマンド研修）
- 研修対象者が作成した学習指導案に指導主事が指導助言を行い、修正案等の提出を求めた。
- 事前課題について対象者同士の共有を図り、各自の取組の改善策の提出を求めた。（「m o o d l e」(研修対象者同士の交流が可能なeラーニング管理システム)の活用)

(2) 専門研修（ICT活用教育）

- ICT活用指導力に課題を感じる教員対象の研修も兼ねているため、別日程の再選択を促した。
- Web会議システムを使い、研修講師が各学校の受講者へ講義等を行った。（オンライン研修C）

3 今後の予定及び研修形態の工夫

研修の形態	講師	受講場所	研修方法
従来型	来場	県内1会場	講義、演習等
オンライン研修A	遠隔	県内1会場	講義、演習等
オンライン研修B	遠隔	県内複数会場（地域別等）	講義、演習等
オンライン研修C	遠隔	所属校	講義
オンデマンド研修	動画配信 資料掲載	所属校	動画や資料の視聴後、レポート提出

- 9月以降の県外講師を招聘しての研修は「オンライン研修A」を中心とする。（状況に応じて「オンライン研修B」及び「オンライン研修C」の方法で実施する。）
- 県内講師及び指導主事が講師を務める研修は「従来型」を中心とする。（状況に応じて「オンデマンド研修」の方法で実施する。）